

「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」 (町丁別・年齢別) - 平成 18 年 1 月 - 概要

住民基本台帳に記載されている、都内の世帯数と町丁別及び年齢別の人口を、平成 18 年 1 月 1 日現在で取りまとめました。それによると、人口は 12,247,024 人で前年より 85,995 人増え、10 年連続して増加し、過去最大となっています。

平成 18 年の主な特徴

1 年少人口 5 年連続で増加 人口に占める割合は昭和 51 年以降減少傾向

年少人口(0～14 歳)は、昭和 51 年以降減少が続いていたが、平成 14 年から増加に転じ、1,451,916 人となった。前年と比較すると、6,096 人(0.42%)増加し、5 年連続の増加となった。人口総数に占める年少人口の割合は、昭和 51 年以降減少傾向にある。

(本文 8～9 頁)(参考表第 4 表、7 表)

2 老年人口 10 年間で約 1.5 倍 人口に占める割合は一貫して増加

老年人口(65 歳以上)は、調査開始(昭和 32 年)以来、一貫して増加し 2,249,279 人となった。前年と比較すると 73,117 人(3.36%)の増加で、調査開始時の約 30 万人からは約 7 倍となった。人口総数に占める老年人口の割合は、調査開始以来一貫して増加し、18.37% となった。

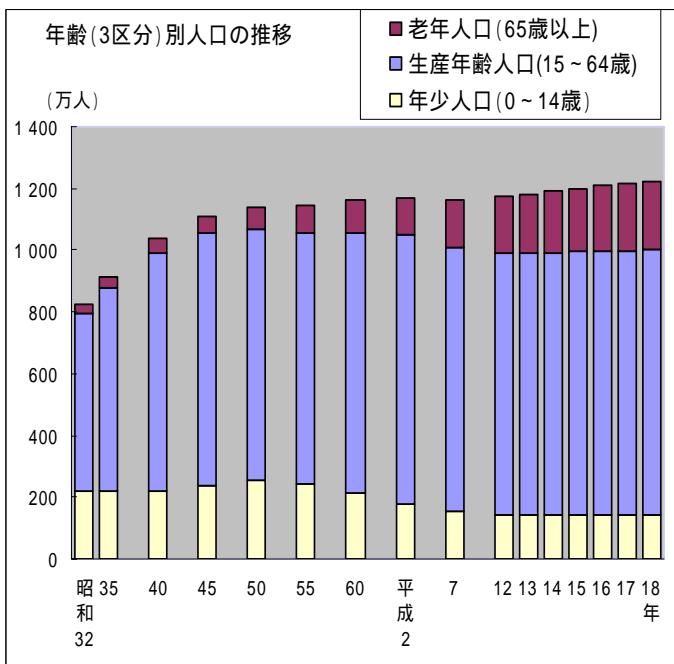
最近の 10 年間で見ると、平成 8 年の約 155 万人から約 70 万人増加し、約 1.5 倍となった。

(本文 8～9 頁)(参考表第 6 表、7 表)

3 生産年齢人口 5 年連続で増加 人口に占める割合は 14 年連続で減少

生産年齢人口(15～64 歳)は、平成 5 年以降減少傾向にあったが、平成 14 年から増加に転じ 8,545,819 人となった。前年と比較すると、6,780 人(0.08%)増加し、5 年連続の増加となった。人口総数に占める生産年齢人口の割合は、平成 5 年以降 14 年連続で減少し、69.78% となった。

(本文 8～9 頁)(参考表第 5 表、7 表)



問い合わせ先
総務局統計部人口統計課
電話 直通 03-5388-2531
内線 25-511